



写真1 草笛の体験（草津小学校1年生）



写真2 園内で拾った落ち葉や木の実を使ったクラフト（井口明神小学校1年生）



写真3 拾った木の枝でクラフト（井口明神小学校2年生）



写真4 ケナフの紙すき体験（己斐上中学校3年生）

参考文献

BGCI, 1994. Environmental Education in Botanic Gardens. Guidelines for Developing Individual Strategies,
老川順子 2000. 植物園における青少年向け教育活動.
日本植物園協会誌 第34号 (7-12)

富澤まり 2001. 小学校等植物公園利用状況調査報告.

広島市植物公園栽培記録第22号 (20-22)

遊川知久 2001. 植物園は何をめざすか—植物を活かす
場をつくるためのアイデア、日本植物園協会誌 第35
号 (150-158)

平成12年度花壇管理状況

木戸基文

平成12年度は部分植替に取り組むとともに、芝生の縁切りを行った。

部分植替

観賞期間は短いが季節感のある草花を植栽するために部分植替を試みた。来園者の目にとまりやすい大花壇と小花壇について、従来のような全面植替を行わず一部分のみを植え替えた。

芝生縁切り

平成10年度に花壇周縁に芝生を張ったが、芝生が植栽部分に侵出したため芝生の縁切りを行った(年2回、計500m)。

植替回数の増加

花あふれる花壇で来園者を迎えるべく、正面入口周辺

の花壇の植替回数を増やした。大花壇と小花壇では華やかさに欠ける冬期に部分植替を追加し計5回の植え替えを、カスケード前花壇は梅雨から夏にかけて傷みやすい時期に1回追加し計4回の植え替えを行った。

生育状況

平成12年度は天候に恵まれ、生育はおおむね良好であった(表2)。

展示室前花壇にリビングストンデージを予定していたが、時期的に老化苗しか入手できずインパチエンスに変更した。また、展示室北花壇と芝生北花壇は6月上旬に植え替え予定であったが、カレンジュラ(冬知らず)とビオラが徒長し倒伏したため、展示室北花壇は植え替えを追加し、芝生北花壇は植え替えを早めた。アゲラタムは雨に弱く6月末には全滅したため、部分植替を追加した。

まとめ

部分植替により季節感を演出でき、同時に華やかさも

増した。また、作業上も障害が少ないため、部分植替を積極的に取り入れるべきである。

また、芝生の縁切りを行うことで花壇が整然とした印

象となった。今後も縁切りを行うとともに、芝生管理業務で行っている芝生除草等を花壇管理業務として一体的に行えば、より効率的な管理が行えると思われる。

表1 平成12年度花壇植物植栽状況

花壇名	春	夏	秋	冬	早春				
大花壇	ペゴニア・センバフローレンス " " (4/21)	桃a 白b 赤c (6/23)	ヒメコリウス コリウス " (6/23)	銅a 銅b 緑×赤c (9/8)	アキランサス " フレンチ・マリーゴールド (9/8)	黄a 赤b 黄c (11/16, 17)	パンジー ^a " ハボタン ^b " (11/16, 17)	黄a 白b 赤c 白d (3/2)	→ → → →
小花壇	ペチュニア " " (4/21)	桃d 桃e 白f (6/23)	ヒメコリウス コリウス " (6/23)	銅d 銅e 緑×赤f (9/7)	アキランサス " フレンチ・マリーゴールド (9/7)	黄d 赤e 黄f (11/15)	シロタエギク ハボタン ^c " (11/15)	銀d 赤e 白f (3/2)	→ → →
カスケード前	ペゴニア・センバフローレンス " " (4/20)	桃g 白h 赤i (6/22)	ヒメコリウス コリウス " (6/22)	銅g 銅h 緑×赤i (9/7)	アキランサス " フレンチ・マリーゴールド (9/5)	黄g 赤h 黄i (11/16)	パンジー'バハラジャ' " サザンクロス (11/18)	桜g 白h 黄i 桃l 白j 黄k 桃l → →	→ →
大温室横	アゲラタム メランポジウム サルビア・コクシネア (5/19)	青j 黄k 白l →	ニチニチソウ(7/11) 混合	アキランサス コリウス " (9/5)	黄j 赤k " (9/6)	スイートアリッサム パンジー ^c " (11/18)	カレンデュラ(冬知らず) " (11/18)	白j 黄k 桃l 黄m →	→
展示室前	インパチエンス (4/25)	混合	ポーチュラカ (6/22)	混合	フレンチ・マリーゴールド (9/6)	黄 " (9/6)	カレンデュラ(冬知らず) " (11/18)	黄 →	→
展示室北	ペゴニア・センバフローレンス " " (4/25)	桃m 白n 赤o →	ポーチュラカ (6/22)	混合	フレンチ・マリーゴールド (9/6)	黄 " (9/6)	ビオラ (11/18)	黄 →	→
芝生北	メランポジウム (5/19)	黄p →			キバナセンニチコウ (9/5)	桃p " (9/5)	カレンデュラ(冬知らず) " (11/18)	黄 →	→
花時計	ポーチュラカ " ベゴニア・センバフローレンス (5/19)	桃q 黄r 白s →			アキランサス " ベゴニア・センバフローレンス (9/5)	赤t 黄u 白v " (9/5)	パンジー ^c " (11/18)	淡青w 黄x 白y スイートアリッサム (11/18)	→ →

()内は植え付け日を表す

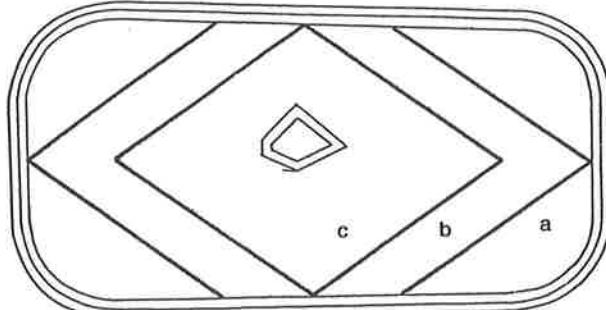


図1 大花壇

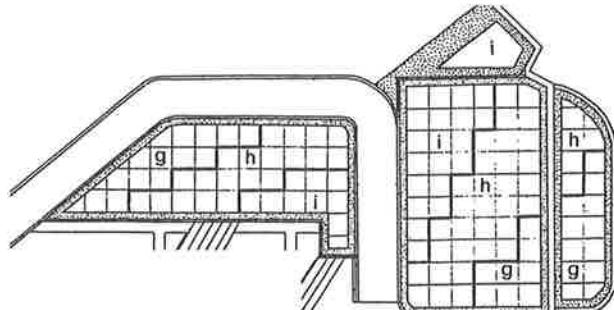


図3 カスケード前花壇

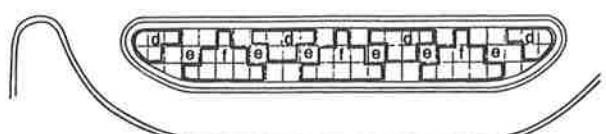


図2 小花壇

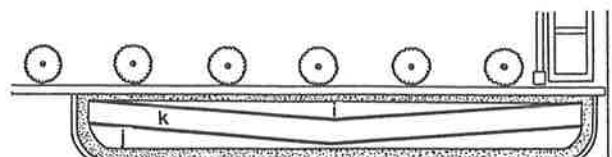


図4 大温室横花壇

表2 平成12年度花壇植物生育状況

植物名	生育状況	評価
ペゴニア・センバフローレンス	良好、7月上旬雨で傷む	○
ペチュニア	不良、雨による傷み顕著、花がら摘み労力多	△
アゲラタム	不良、雨による傷み顕著、6月末撤去	×
メランポジウム	定植直後かん水不足で枯死、乾燥に弱い	○
サルビア・コクシネア	切り戻しにより倒伏回避、夏期の花付きやや悪	△
インパチエンス	良好、6月下旬倒伏のきさし	○
ポーチュラカ	良好、6月中旬から開花	○
ヒメコリウス	発色悪、8月上旬倒伏、雨に強いが乾燥に弱い	○
コリウス	複色生育不良、雨に強いが乾燥に弱い	○
ニチニチソウ	7月中旬定植のため雨による傷みなく良好	△
アキランサス	発色良、草姿が乱れずデザインにめりはりつく	○

植物名	生育状況	評価
フレンチ・マリーゴールド	害虫（ネキリムシ）が発生したが薬散（オルトラン）後おさまる	○
キバナセンニチコウ	良好、風による倒伏少	○
パンジー	厳寒期（1月）の花付き悪	○
ハボタン	発色良く目立つ、チリメンより丸葉が良い	○
シロタエギク	ハボタンとの相性良、華やかさに欠ける	△
スイートアリッサム	花付き悪、寒さで傷む	△
サザンクロス	発色良	○
ビオラ	厳寒期（1月）の花付き悪、49株／・つめすぎ	○
カレンデュラ(冬知らず)	良好、4月中旬倒伏	○
アイスランドボピー	華やかさに優れる、3月中旬以降花付き良	○

○：有望、 △：十分使用可、 ×：時期、場所を選べば使用可、 ×：使用不可